

ルータ RVS4000-JP GUI 設定ユーティリティ 画面一覧 後編 (テキスト版)

ルータ RVS4000-JP の設定及び状態確認の画面を以下に掲載します。

Small Business 製品の設定及び状態確認は Web 画面となっております。

ルータ RVS4000-JP においては、

1. 設定(本体の設定)
2. ファイアウォールの設定
3. VPN の設定
4. QoS の設定
5. 各種管理の設定
6. IPS の設定
7. L2 スイッチの設定
8. ステータスの表示

の8項目で構成されております。

本ドキュメントでは、上記4. ～8. について掲載します。

4. QoS

1) 帯域幅管理



帯域幅管理設定画面

上記の画面において、帯域幅管理を行うか否か、行う場合の管理タイプの設定を行います。

2) QoS 設定



QoS 設定画面

上記の画面において、ポート単位の QoS の設定及び CoS の設定を行います。

3) DSCP 設定



DSCP 設定画面

上記の画面において、QoS の DSCP 設定を行います。

5. 各種管理

1) 管理

管理

リモートへのアクセス

リモートのユーザプロファイル: 1 ▼

リモートのユーザ名: admin

リモートのパスワード: *****

パスワードの再入力: *****

システム

システム名:

システムIPアドレス:

システムMACアドレス:

システムIPアドレス:

リモート管理IPアドレス:

リモート管理ポート:

リモート管理プロトコル:

SNMP

SNMP: 有効 無効

SNMPコミュニティ文字列:

保存 キャンセル

管理設定画面

上記の画面において、ユーザ名、パスワードの設定やリモート管理の設定を行います。

2) ログ

ログ

ログ設定

ログレベル: すべて(0~7)
 0 1 2 3 4 5 6 7

送信ログ: 有難 無難

受信ログ: 有難 無難

Eメールアラート

Eメールアラート: 有難 無難

サービス拒否のしきい値: イベント(20~100)

ログキューの長さ: エントリ(50~100)

ログ時間のしきい値: 分(10~10,000)

SMTPメールサーバ: ポート:

アラートログ用のEメールアドレス:

返信用Eメールアドレス:

SMTP認証を有難にする

ユーザ名:

パスワード:

Syslog

Syslog: 有難 無難

Syslogサーバ: (名前またはIPアドレス)

出力

出力ブロッキングイベントのログ: 有難 無難

ローカルログ

ローカルログ: 有難 無難

ログ設定画面

上記の画面において、ログの出力内容やEメールでの通知方法等の設定を行います。

3) 診断

診断

Pingのテストパラメータ

PingのターゲットIP:

Pingのサイズ: バイト

Ping回数: (範囲: 1~100)

Ping間隔: ミリ秒

Pingのタイムアウト: ミリ秒

Pingの結果: **Pkt_Sent:0 Pkt_Recv:0 Avg_Rtt:0ms**

トレースルートのテストパラメータ

トレースルートのターゲット:

ケーブル診断

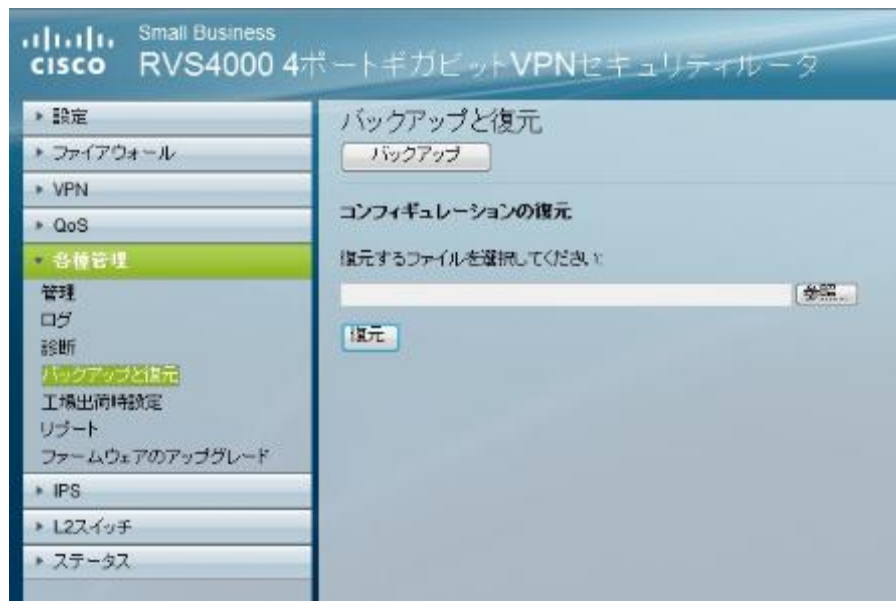
ポート1

ペア	ケーブル長(m)	ステータス
A	-	
B	-	
C	-	
D	-	

診断画面

上記の画面において、ping テストやトレースルートのテストを行うことができます。

4) バックアップと復元



バックアップと復元画面

上記の画面において、本装置に設定した内容をバックアップ・復元操作を行うことができます。

5) 工場出荷時設定



工場出荷時設定画面

上記の画面において、本装置の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

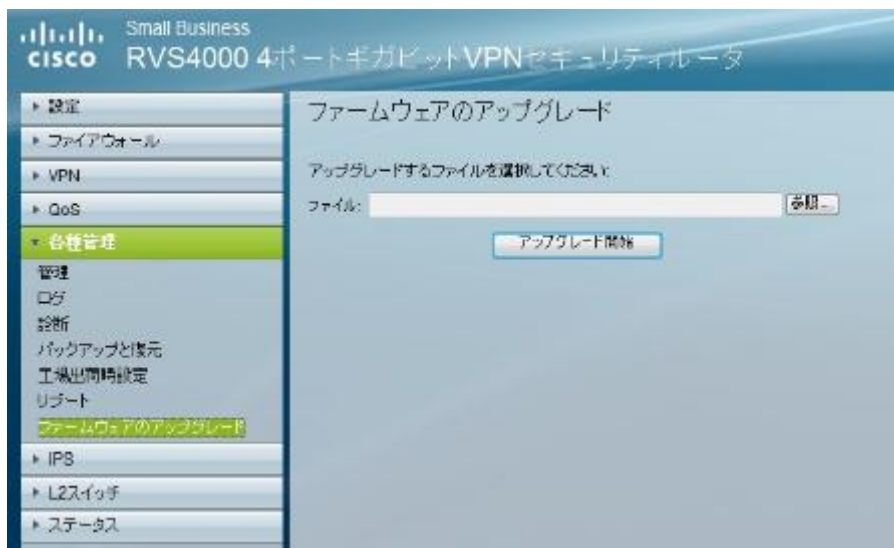
6) リポート



リポート画面

上記の画面において、本装置のリポートを行うことができます。

7) ファームウェアのアップグレード



ファームウェアのアップグレード画面

上記の画面において、本装置のファームウェアのアップグレードを行うことができます。

6. IPS

1) コンフィギュレーション



コンフィギュレーション設定画面

上記の画面において、本装置のIPS機能の使用の有無の設定等やシグネチャのアップデートを行います。

2) P2P/IM



P2P/IM 設定画面

上記の画面において、ピアツーピアやインスタントメッセージャーのブロックの設定を行います。

3) レポート



レポート画面

上記の画面において、本装置が検知 (IPS 有効時) した攻撃を確認できます。

4) 情報

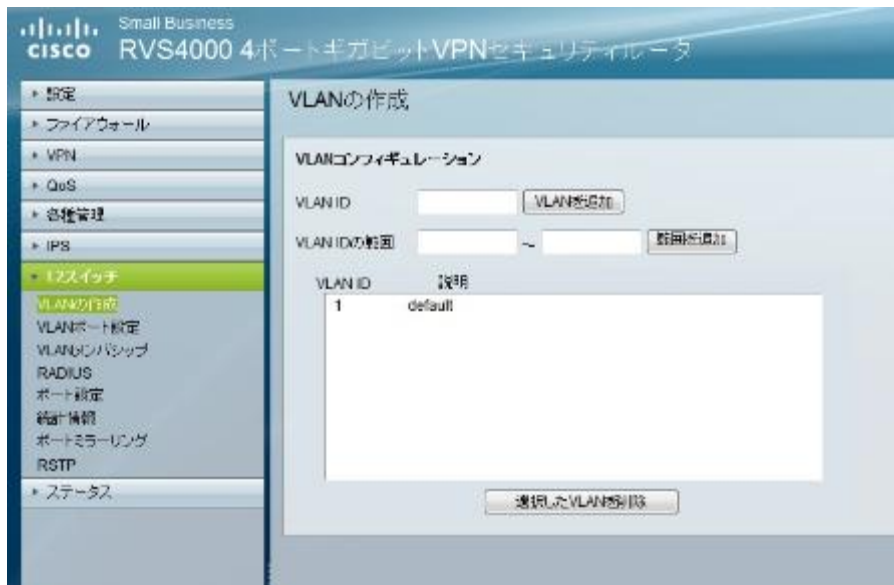


情報画面

上記の画面において、本装置の IPS の情報が確認できます。

7. L2 スイッチ

1) VLAN の作成



VLAN の作成画面

上記の画面において、最大4個 (default を除きます。) の VLAN の作成することができます。

2) VLAN ポート作成



VLAN ポート作成画面

上記の画面において、VLAN ポートのモード等の設定を行うことができます。

3) VLAN メンバシップ



VLAN メンバシップ設定画面

上記の画面において、VLANID に対応した名前と機能・ポートの設定することができます。

(default は除きます。)

4) RADIUS



RADIUS 設定画面

上記の画面において、RADIUS 認証使用時の設定を行うことができます。

5) ポート設定



ポート設定

上記の画面において、LAN ポート単位に LAN の設定を行うことができます。

6) 統計情報

統計情報

統計情報の概要

ポート	Txパケット数	Txフレーム数	Rxパケット数	Rxフレーム数	Txエラー数	Rxエラー数
1	135250450	128764	16838114	98195	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0
Internet	16694076	85317	155787939	191720	0	0

統計情報画面

上記の画面において、本装置の各ポートの統計情報の確認を行うことができます。

7) ポートミラーリング

ポートミラーリング

ミラーリングの概要

ポート	ミラー元
0(WANポート)	<input type="checkbox"/>
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

ミラーポート: 1

ポートミラーリング設定画面

上記の画面において、ポートミラーリングの設定を行うことができます。

8) RSTP



ポート	ループ防止の機能化	メッセージ	優先度
1	<input checked="" type="checkbox"/>	RSTP	auto
2	<input checked="" type="checkbox"/>	RSTP	auto
3	<input checked="" type="checkbox"/>	RSTP	auto
4	<input checked="" type="checkbox"/>	RSTP	auto

RSTP 設定画面

上記の画面において、スパニングツリープロトコル(ループ防止)の設定を行うことができます。

8. ステータス

1) WAN ゲートウェイ



WAN ゲートウェイ確認画面

上記の画面において、本装置の WAN ゲートウェイの状態確認が行えます。

2) ローカルネットワーク



ローカルネットワーク確認画面

上記の画面において、本装置のローカルネットワークの状態確認が行えます。